

Public Interest Incorporated Foundation for Shiretoko Institute of Wildlife Management

# 設立財団ニュースレター

Vol. 9

2016年8月10日発行

## ● 本号に平成27年度事業報告を掲載しました

### <目次>

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| ■ 知床ネイチャーキャンパスを開催します…… 1 | ■□■ 平成27年度事業報告 ■□■     |
| ■ 今後の方針について…… 2          | I 当財団の公益事業…… 6         |
| ■ 知床ネイチャーキャンパス開催概要…… 2～3 | II 理事会及び役員等に関する報告…… 10 |
| ■ 設立財団のおすすめ本の紹介…… 4      | III 法人の運営状況について…… 12   |
| ■ 専門委員会・理事会・評議員会報告…… 5   | ■ 賛助会員、寄附金の募集について…… 16 |

平成28年10月9日（日）～10日（祝・月）

## 知床ネイチャーキャンパス 2016

を開催します！

世界自然遺産知床で、野生動物との共存を学びませんか？

知床自然大学院大学設立財団は、平成28年10月9～10日、世界自然遺産知床のフィールドやウトロ地区を舞台に、「知床ネイチャーキャンパス2016」を開催します。野生生物保護管理分野の第一線で活躍している講師陣を迎え、2日間のプログラムの中で、各種講義やフィールド実習、ワークショップなどを体験していただきます。この分野を学ぶ学生や社会人のほか、賛助会員の皆様もご参加いただけます。知床の現場や、当財団が進めようとしている教育内容に触れられる機会となりますので、興味のある方はぜひお申し込みください。

詳しくはニュースレターの2～3ページをご覧ください。



## 設立財団の今後の方針について

代表理事 田中 俊次

平成 27 年度事業報告にありますとおり、昨年度は設立へ向けた本格的な活動を展開いたしました。専門職大学院の教育課程や教員体制を検討し、大学院設立認可申請へ向けた作業を進め、並行して学校法人設立へ向けた準備、資金確保のための活動を精力的に進めました。しかし、設立に必要な資金獲得には至らず開設目標年度の一年延期を決めたところ（ニュースレター7号で報告）。その後、これまでの活動結果を振り返るとともに、設立へ向けた今後の活動方針・資金獲得の方策等について根本的な検討を行いました。そして、理事会・評議員会での議論を経て、今年度から下記のような方針で望むこととなりました。賛助会員や支援者の皆様にはこの方針をご理解いただき、引き続きご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

- 1 専門職大学院大学に限らず、幅広い高等教育機関の形を模索・検討し、知床でこそ実現可能な教育プログラムの実践的検討と試行を行います。これらの成果を基に計画策定を進めることから、平成 28 年度中の文科省認可申請は見送り、教育機関の開設目標を 2019 年以降に延期します。
- 2 設立計画への理解者の拡大を図り、賛助会員や支援者の拡大へつなげます。このために、わかりやすい教育計画策定や経営像の確立と広報活動を行います。
- 3 教育プログラムの試行と理解の拡大を目的としたイベント「知床ネイチャーキャンパス」を今年度から開催します。具体的な実践の成果を教育機関の計画策定に生かし、支援者や設立資金獲得につなげます
- 4 他大学等との連携による教育機関・教育施設の共同設立や誘致も含め、設立理念に沿った教育機関の実現へ向けた活動を並行して進めます。

## ☆☆ 知床ネイチャーキャンパス 2016 を開催します ☆☆

世界自然遺産知床は、野生生物の科学的保護管理（ワイルドライフマネジメント）の先進地です。知床ネイチャーキャンパスは、この地を舞台に、この分野の第一線で活躍する先生方が講師を務め、保護管理の実際に関する講義、野外実習を体験する教育プログラムです。この分野の専門職を目指す学生、森林管理や鳥獣行政を担う社会人、自然共生をベースに地域振興を考える皆さん、野生動物との共存を学ぶ濃密なプログラムを体験してみませんか。

- テーマ：「知床で学ぼう！野生動物との共存」
- 日時：平成 28 年 10 月 9 日（日）～ 10 月 10 日（月・祝）
- 会場：知床第一ホテル（北海道斜里郡斜里町ウトロ香川）
- 実習：世界自然遺産知床地域及び周辺の野外フィールド
- 主催：公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

- 受講対象**：野生生物保護管理を専攻する大学院生や学部学生 野生生物保護管理に関わる社会人  
ワイルドライフマネジメントを学びたい皆さん・地元の皆さん  
知床自然大学院大学設立財団の賛助会員
- 受講定員**：25名（先着順）
- 受講料**：無料
- 参加費**：学生 15,000 円、社会人 18,000 円（2泊分の宿泊費と食費、交流会費を含みます）  
※会場までの往復交通費は各自負担となります。

### ○スケジュールとプログラム

[集合と解散] 9日午前9時集合、解散11日朝。

[プログラム]

9日（日）主に講義（仮テーマ）

開会・オリエンテーション

講義1「知床の生態系の特徴と世界遺産登録までの道のり」

講義2「野生動物保護管理概論-我が国の現状と課題」

講義3「野生動物管理の実際-知床国立公園とイエローストーン国立公園」

講義4「森川海のつながりを再生する-知床世界自然遺産地域における試み」

講義5「地域資源戦略論-エコツーリズムと自然環境学習」

10日（月・祝）主に実習と演習

世界自然遺産知床のフィールドで、各講師による野外実習を中心に行います。

※夜は参加者と講師・スタッフを交えた交流会を予定しています。

### ○講師

桜井 泰憲（講義1）北海道大学名誉教授・知床世界自然遺産地域科学委員会委員長・海域WG座長

鈴木 正嗣（講義2）岐阜大学応用生物科学部教授・知床世界自然遺産地域科学委員会エゾシカ・陸上生態系WG委員

梶 光一（講義3）東京農工大学教授・知床世界自然遺産地域科学委員会委員・エゾシカ・陸上生態系WG座長

中村 太士（講義4）北海道大学大学院農学研究院教授・知床世界自然遺産地域科学委員会委員・河川工作物AP座長

敷田 麻実（講義5）北陸先端科学技術大学院大学教授・知床世界自然遺産地域科学委員会委員・適正利用・エコツーリズムWG座長

### ○参加申し込み

参加希望者は下記 e-mail アドレスか FAX に、氏名・所属・連絡先（アドレスと電話番号）をお送り下さい。

改めて事務局よりお申し込みフォームを送ります。

e-mail : sizendaigaku@wine.plala.or.jp FAX : 0152-26-7773

### ○お問い合わせ先

〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町 28 番地 10

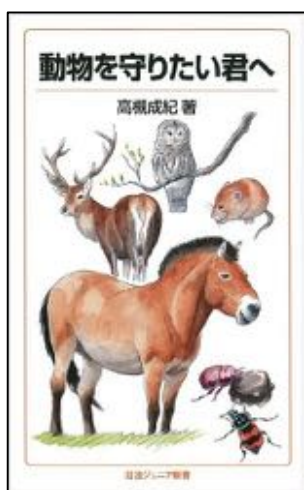
TEL : 0152-26-7770（又は 090-4871-4591） FAX : 0152-26-7773

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

e-mail : sizendaigaku@wine.plala.or.jp

※当財団は、野生生物と人間社会との共存を担う専門職を育成する高等教育機関を知床に開設することを目的に活動を展開しています。このプログラムの実施成果は、実現を目指す教育機関のカリキュラム作成に生かされます。

## 知床自然大学院大学設立財団のおすすめ本紹介



### 『動物を守りたい君へ』

高槻 成紀 著

岩波ジュニア新書 (2013年) 840円

動物を守りたい。多くの人が抱く感情だと思いますが、自分たちが動物のためだと思って行っていることは、本当に動物のためになっているのでしょうか。

野生動物はもちろん、ペットや家畜に至るまで、私たちが身の回りの動物たちと共存するためにはどんな心構えが必要なのかについて、優しい言葉で綴られています。乱獲によるゾウガメの絶滅、偏見によるオオカミの撲滅、戦後農業の変化によるトキの絶滅など各種の事例から、動物を守るために本当に大切なことが見えてきます。

人間も含めた地球環境全体、生物全体のつながりを知ること。それは何も壮大な話ではありません。私たちが社会や家庭や身近な人間関係の中で、決して一人では生きられないことともよく似ているような気がします。ジュニア新書ですが、大人にもオススメの一冊です。(事務局)

### 『野生動物の管理システム』

—クマ・シカ・イノシシとの共存をめざして—

梶光一、小池伸介 編著

講談社 (2015年) 3,200円

シカの増加による生態系への影響増大や農業被害激増、クマやイノシシが人里や都市で引き起こす軋轢の増加。地域の衰退や高齢化により管理の担い手は急速に減少しています。本書は我が国の現状と課題をヨーロッパの例と比較しながら、日本型野生動物管理システムの構築を提言しています。

本書では「野生動物管理専門官の養成」にもページが割かれています。日本における人材養成の現状では“プログラムの検討や認証について緒に着いたばかりであり、人材育成システムについては未整備の状態”と指摘し、最近になっていくつかの大学で取り組みが始まった事例が紹介されています。求められる専門官の教育プログラムについては、各大学の連携による共同プログラムの開発、鳥獣行政業務を担当する社会人を対象としたリカレントプログラム等が提案され、プログラム履修と実務経験を経た者を評価し資格を与える認証制度の創設が必要としています。知床で実現を目指す教育機関のあるべき姿を考える上で大変参考になる一冊です。(中川 元)



## ■ 専門委員会報告

### 第5回大学計画策定専門委員会

日時：平成28年6月7日（火） 13：00～16：00

場所：TKP品川カンファレンスセンター（東京都）

出席者は委員8名

これまでの計画策定経過や大学院大学開設に向けた取り組みの経過を確認し、今後の計画策定の方向と実現に向けた方策について、議論を交わしました。



## ■ 評議員会・理事会報告

### 平成28年度第1回評議員会

日時：平成28年6月12日 午後1時～

場所：斜里町公民館ゆめホール知床 会議室2

第1号議案 「平成27年度事業報告書（案）」承認の件

第2号議案 「平成27年度決算報告書（案）」承認の件

第3号議案 評議員選任の件

第4号議案 評議員長選任の件

第5号議案 理事・監事選任の件

以上について審議し、可決されました。

<報告事項>

1. 賛助会員の加入状況及び募金の状況について
2. その他の業務執行報告

### 平成28年度第1回理事会

（定款第36条に基づく「決議の省略」による）

理事会の決議があったとみなされた日

平成28年5月16日

第1号議案 「平成27年度（2015年度）事業報告書」承認の件

第2号議案 「平成27年度（2015年度）決算報告書」承認の件

第3号議案 平成28年度第1回評議員会（定時）召集の件について、書面による同意の意思表示にて可決しました。

### 平成28年度第2回理事会

日時：平成28年6月12日 午後2時～

場所：斜里町公民館ゆめホール知床 会議室2

第1号議案 代表理事及び業務執行理事選任の件

代表理事に田中理事を、業務執行理事に上野・中川両理事を選任しました。

<報告事項>

1. 賛助会員の加入状況及び募金の状況について
2. その他の業務執行報告

<協議事項>

1. 今年度の事業展開について

# 平成 27 年度事業報告

平成 27 年度は公益財団法人認定 2 年目の活動として、積極的な公益目的事業への取り組みを行うと共に、公益法人制度に則った正確な組織運営に努めました。公益事業では、知床大学院大学の具体的計画を専門家による計画策定専門委員会を中心に進め、文科省の認可申請に向けた教育体制や教育カリキュラムの検討を行いました。加えて設立のための資金獲得へ向けた活動に本格的に取り組み、企業・団体等への大学院大学構想の説明と支援要請活動を展開しました。しかし、学校法人設立認可申請に必要な設立資金獲得に至らず、認可申請準備期間の延長及び当初の予定であった 2017 年開学を延期することを決定しました。

## I 当財団の公益事業

### 1 知床自然大学院大学設立準備事業

#### (1) 知床自然大学院大学計画策定専門委員会の開催と計画案策定

平成 25 年度に発足した計画策定専門委員会の第 4 回を開催し、大学院計画策定に向けた議論を深めました。また専門委員以外の専門家等からの意見を聴取し、理事会での議論も含めて検討作業に反映させました。

#### 第 4 回計画策定専門委員会

日時：平成 27 年 10 月 24 日（土） 午前 9 時～12 時  
 場所：北海道立道民活動センター かでの 2.7（札幌市）  
 参加者：専門委員 7 名、オブザーバー 2 名、事務局 2 名  
 主な協議事項：文科省申請に向けた教員体制や教育計画案、  
 他大学との連携による設立、実現に向けた具体的方策等



#### <知床自然大学院大学計画策定専門委員>

委員長	梶 光一	東京農工大学大学院教授・財団理事	委員	曾野 知雄	レスコム北海道・OWL VISION 代表
副委員長	中村太士	北海道大学大学院農学研究院教授	委員	中川 元	元知床博物館館長・財団業務執行理事
委員	小林万里	東京農業大学生物産業学部教授	委員	松田裕之	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授
委員	桜井泰憲	北海道大学名誉教授	委員	横山真弓	兵庫県立大学自然環境科学研究所教授
委員	敷田麻実	北陸先端科学技術大学院大学教授	委員	吉田剛司	酪農学園大学環境共生学類教授
委員	鈴木正嗣	岐阜大学応用生物科学部教授	委員	吉田正人	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
オブザーバー	大泰司紀之	北海道大学名誉教授・財団顧問	オブザーバー	渡辺綱男	元環境省自然環境局長・財団顧問
オブザーバー	田中俊次	東京農業大学名誉教授・財団代表理事			

## (2) 計画策定に関する関係省庁への訪問と、意見聴取及び認可申請に関する文科省訪問相談

計画策定を進めるとともに、専門委員・顧問・理事が環境省自然保護局や林野庁を訪問し、当大学院計画を説明すると共に野生動物被害対策、必要な教育・教員体制、省庁職員のリカレント教育等について意見交換を行いました。これらの訪問結果をもとに、現職を含む社会人入学者のカリキュラムや教育手法を具体的に検討し、教育課程モデルの作成を行いました。また、大学院大学の設立認可申請準備のため文科省を理事・顧問が訪問し、教員体制や社会人入学等について具体的計画の説明と相談を行いました。学校法人認可申請に関しては、設立資金計画や法人組織について申請に向けた指導を受けました。この相談結果と資金等準備進捗状況を踏まえ、認可申請時期及び開設時期の再検討を行いました。

## (3) 認可申請に向けた準備作業と他大学との連携

当初目標の2017年開学を目指すため、2015年10月末の大学設立認可申請に向けた具体的計画の詰めと申請書類作成に取り組みました。作成を進める過程で教育課程や専任教員体制、学生募集やメディアを活用した教育方法、社会人入学者への配慮、必要な施設・設備計画や卒業後の進路等の細部について検討を行い、申請に備えました。準備作業は顧問や計画策定専門委員のアドバイスを受けながら進めました。並行して学校法人の運営組織、経営計画や施設計画の策定を行い、設立のための資金確保の活動を精力的に行いました。しかし目標とする設立資金の確保には至らず、文科省への申請を次年度以降とし、開設目標年を延期することとしました。そして今後に向けた課題の整理と資金獲得方法の検討を行うと共に、他大学との連携による設立についても協議と要請の場を持ちました。

## 2 普及啓発・広報事業及び調査研究事業

### (1) ワイルドライフマネジメントフォーラム特別講演会

#### 「野生生物保護管理の最新潮流～IWMCから見えてきたもの～」の開催

##### <開催概要>

日時：平成27年10月28日（水） 午後6時30分～8時30分

会場：新丸ビル・コンファレンススクエア（東京都）

講師：梶光一・東京農工大学教授

参加者数：150名

##### 実施状況・成果

平成27年7月に札幌で開催された「第5回野生動物保護管理学会（IWMC）」の実行委員長である、梶光一・東京農工大教授を講師に、世界の野生生物保護管理の潮流、知床とイエローストーン国立公園、ヒグマや有蹄類の保護管理の取り組みなどを講演いただきました。加えて、WWFジャパンの草刈秀紀氏、元環境省自然環境局長の渡辺綱男氏、環境省野生生物課長の奥田直久氏にコメントをいただきました。平日夜にもかかわらず、約150の方々に足を運びいただき、この問題への関心の高さが伺われました。



## (2) 会報誌「設立財団ニュースレター」の発行

当事業年度は会報誌を 3 回発行し、賛助会員や関係者、関係機関等に送付するとともに、ホームページに PDF 版を掲載しました。

### <第 6 号>

発行日：平成 27 年 7 月 31 日 A4 版 16p

主な内容：平成 26 年度事業報告、インタビュー、知床コラム、  
理事会・専門委員会報告ほか

### <第 7 号>

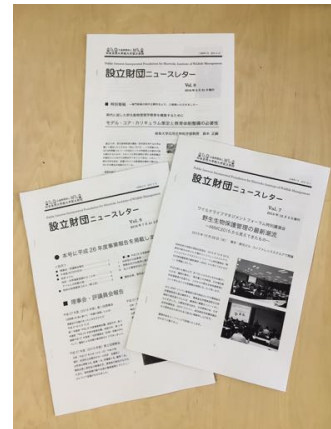
発行日：平成 27 年 12 月 3 日 A4 版 12p

主な内容：ワイルドライフフォーラム特別講演会開催報告、本の紹介  
知床の地域資源 Q&A、理事会・専門委員会報告ほか

### <第 8 号>

発行日：平成 28 年 3 月 31 日 A4 版 10p

主な内容：特別寄稿（鈴木正嗣専門委員）、寄付・賛助会員状況報告  
知床の地域資源 Q&A、理事会報告ほか



## (3) ネットを活用した広報活動

### <ホームページの運用>

設立趣旨や定款等の基本情報に加え、活動報告のページを  
新設し、フォーラム・講演会等の結果報告を行いました。

知床自然大学設立財団ホームページ  
<http://www.shiretoko-u.jp>



### <ブログの運用>

平成 26 年に開設した「知床自然大学設立財団ブログ」では、  
知床の自然情報、主催行事案内、ワイルドライフマネジメン  
トに関する話題や解説などの記事を掲載し、多くのアクセス  
がありました。

知床自然大学設立財団ブログ  
[http://blogs.yahoo.co.jp/u\\_shiretoko](http://blogs.yahoo.co.jp/u_shiretoko)



### <SNS の活用>

昨年度に続き、設立財団 Facebook を運用し、行事案内や自然  
情報など幅広い情報を提供とホームページやブログの記事案内  
を行いました。またオンライン寄付サイト「Give One」の寄付  
月間イベントやソーシャルグッドプラットフォーム「gooddo」  
への参加を紹介し、2015 年末には「いいね」が 500 件を超え  
るなど関心を有する幅広いみなさんとの交流の場になりました。

知床自然大学設立財団 Facebook  
<https://www.facebook.com/shiretoko.u/>



#### (4) 報道機関への情報提供と取材対応

北海道内の各新聞社やテレビ局等への情報提供や取材対応を行い、財団の活動状況の周知や、理念・目的の普及に努めました。平成27年は知床が世界自然遺産登録10周年にあたり、各報道機関による特集記事や特別番組が多く組まれました。インタビューや出演依頼を受けた機会に、代表理事らが知床大学院大学構想について説明を行いました。北海道新聞には設立財団の活動に関する特集記事や社説が掲載されたほか、北海道東部地域の経済誌「月刊せいけい」の2016春季号に活動を紹介する原稿を寄稿し、6ページの記事として掲載されました。

#### (5) パンフレット増刷と新パンフレットの作成

平成26年に作成したパンフレットを増刷し、賛助会員拡大や支援者拡大に活用しました。また大学院計画を開設した企業向けの新パンフレット（A4カラー、4p）と、ワイルドライフマネジメントの専門家に関してわかりやすく解説したパンフレット（A3両面カラー）を新たに作成しました。講演会や関係団体の集まり、北海道関係の全国フェアなどで配布したほか、企業向けは各企業・団体への支援用性活動に活用しました。



企業向けパンフレット



ワイルドライフマネジメントについて解説したパンフレット

#### (6) 調査研究事業

昨年度に引き続き、野生生物保護管理に関する論文や報告書、保護管理人材養成に関する論文等の文献調査と収集を行いました。大学院計画策定に関して、具体的なカリキュラム作成に必要な文献、資料の収集や、類似分野の大学院や大学の科目に関する資料、シラバス等を幅広く収集し、我が国に必要な人材養成の理念と方法、手段について調査研究を行いました。

## II 理事会及び役員等に関する報告

### 1 理事会

#### <平成27年度第1回理事会>

(定款第36条に基づく「決議の省略」による)

決議があったと見なされた日：平成27年5月15日

決議事項

- 第1号議案「平成26年度(2014年度)事業報告書(案)」承認の件
- 第2号議案「平成26年度(2014年度)決算報告書(案)」承認の件
- 第3号議案 平成26年度第1回評議員会(定時)招集の件

以上、原案通り可決しました。

報告事項

- ・賛助会員の加入状況及び募金に関する報告
- ・その他の業務執行報告



#### <平成27年度第2回理事会>

開催日時：平成27年6月14日(日)午後2時～

開催場所：斜里町ゆめホール知床会議室2

報告事項

- ・賛助会員の加入状況及び募金の状況について
- ・業務執行報告

協議事項

- ・寄付要請行動について
- ・当面の事業展開とスケジュールについて

#### <平成27年度第3回理事会>

開催日時：平成27年10月25日(日)午後1時～

開催場所：斜里町ゆめホール知床会議室2

決議事項

- 第1号議案 設立へ向けたロードマップ・スケジュールについて
- 以上、原案通り可決しました。

報告事項

- ・2015年度上期の事業実施、財務状況報告について
- ・賛助会員と寄付金の状況報告、その他の業務執行報告

協議事項

- ・今後のファンドレイジング活動について
- ・2015年度下期の事業予定について

#### <平成27年度第4回理事会>

(定款第36条に基づく「決議の省略」による)

決議があったと見なされた日：平成28年3月15日

決議事項

- 第1号議案「平成28年度(2016年度)事業計画(案)」承認の件
  - 第2号議案「平成28年度(2016年度)収支予算(案)」承認の件
- (資金調達および設備投資の見込みを含む)

以上、原案通り可決しました。

報告事項

- ・第3回理事会以降の寄付金募集活動・賛助会員拡大活動の報告
- ・2月末現在賛助会員・寄付金状況の報告
- ・代表理事・業務執行理事の業務執行報告
- ・「ワイルドライフマネジメントフォーラム特別講演会」開催報告

1-2 役員等に関する事項 ※2016年（平成28年）3月31日現在

<役員>

役職	氏名	就任年月日	担当職務	略歴
理事	田中俊次	2013年1月22日	代表理事	東京農業大学名誉教授
理事	中川 元	2013年1月22日	業務執行理事	元知床博物館館長
理事	上野雅樹	2013年1月22日	業務執行理事	知床ユネスコ協会理事
理事	家村充尋	2013年1月22日		知床ユネスコ協会会員
理事	石川 勝	2014年6月8日		羅臼町教育委員長
理事	梶 光一	2013年1月22日		東京農工大学教授・日本哺乳類学会理事長
理事	金澤裕司	2013年1月22日		羅臼町教育委員会自然環境教育主幹
理事	齋藤卓也	2013年1月22日		公益財団法人北海道環境財団評議員
理事	鈴木幸夫	2013年1月22日		会社員・日本聖公会東京教区監事
理事	滝澤大徳	2014年6月8日		知床山考舎代表
理事	前川和広	2014年6月8日		北海道生活協同組合連合会理事
理事	三宅雅久	2014年6月8日		北海道ふるさと会連合会理事
監事	木村耕一郎	2013年1月22日		斜里町議会議長
監事	廣川昭廣	2013年1月22日		税理士

※ 役員報酬を支給している常勤役員は1名。役員には当法人の事業・業務に関する必要な経費を、本人からの申請に基づき支給している。

<顧問及び相談役>

	氏名	就任年月日	略歴
顧問	大泰司紀之	2013年1月22日	北海道大学名誉教授
顧問	松浦晃一郎	2013年1月22日	公益財団法人日仏会館理事長 前ユネスコ事務局長（第8代）
顧問	渡辺綱男	2013年1月22日	自然環境研究センター上席研究員 国連大学シニアプログラムコーディネーター 元環境省自然環境局長
相談役	丹保憲仁	2013年1月22日	北海道立総合研究機構理事長 北海道大学名誉教授（第15代総長）

※ 理事会の諮問に応じて当法人の事業・業務に対して指導・助言などのご支援をいただいている。

※ 報酬は支給していないが、代表理事から委任された当法人の事業・業務に関する必要な経費を支給する場合があります。

## 2 評議員会

<平成27年度第1回評議員会（定時）>

開催日時：平成27年6月14日（日）午後1時～

開催場所：斜里町ゆめホール知床会議室2

決議事項：第1号議案「平成26年度（2014年度）事業報告書（案）」承認の件  
第2号議案「平成26年度（2014年度）決算報告書（案）」承認の件  
以上、原案通り可決しました。

報告事項：賛助会員の加入状況及び募金に関する報告  
その他の業務執行報告

### 2-2 評議員に関する事項 ※2016年（平成28年）3月31日現在

<評議員>

役職	氏名	就任年月日	略歴
評議員	石 弘之	2013年1月22日	環境問題研究者
評議員	上野洋司	2013年1月22日	知床斜里町観光協会会長
評議員	午来 昌	2013年1月22日	元斜里町長
評議員	鈴木真吾	2013年1月22日	元斜里町教育委員長
評議員	土橋利文	2013年1月22日	斜里町商工会会長
評議員	深山和彦	2013年1月22日	ウトロ漁業協同組合代表理事組合長

※ 報酬を支給している評議員はないが、当法人の事業・業務に関する必要な経費を、本人からの申請に基づき支給している。

## III 法人の運営状況について

### 1 事務局の状況

常勤の業務執行理事1名と非常勤の事務局長（理事）1名、常勤の事務局員1名による運営体制としています。必要に応じて代表理事及び業務執行理事が事務局における決裁業務を分担職掌しているほか、会計処理や決算においては理事2名が在宅で事務局をサポートしています。会計処理の正確性と効率化を図るため、平成26年度より会計ソフトを導入しました。

### 2 税額控除団体の認定

平成26年8月8日、当法人は内閣総理大臣から「税額控除に係る証明」を受けました。これに伴い、寄付金控除の選択肢が拡大し、従来の所得控除に加え、新たに税額控除制度が適用されることとなりました。

### 3 ファンドレイジングの状況（賛助会員と寄附金について）

	種別	予算（件数）	予算（金額）	実績（件数）	実績（金額）
賛助会員	個人	200	1,000,000	103	515,000
	団体	20	200,000	3	30,000
	法人	40	2,400,000	35	1,420,000
	小計	260	3,600,000	141	1,965,000
寄附金		---	8,500,000	35	1,967,915
	合計	---	12,100,000	176	3,932,915
大学院設立資金	目標額	---	250,000,000	---	1,196,650

（金額単位：円）

賛助会員募集と寄附金要請は、役員による要請行動のほか、事務局からの文書送付による案内を北海道内各企業へ行いました。また、新聞社やテレビ局取材の中で当財団の活動紹介と合わせて支援要請を行いました。設立資金の要請では道内外の経済団体や企業を回り、大学院設立の意義や趣旨の説明を行う中で設立資金の要請を行いました。

賛助会員については、法人会員は金額で前年比 18%増となりましたが、個人会員は更新率が伸びず、前年をやや下回りました。一般寄付金額は昨年度をやや下回り、目標額（予算額）の 44%に留まりました。大学設立資金の確保については、企業・団体への要請行動を展開しましたが、大口の寄附には繋がらず、個人を中心に 35 件 1,196,500 円の寄附がありました。

またオンライン寄付サイト「Give One」に引き続き参加し、1ヶ月間の「寄付月間」イベントに参加しました。加えて今年度よりソーシャルグッドプラットフォーム「gooddo」に参加し、新しい支援システムからの寄附金受け入れを始めました。

次ページより、平成 27 年度決算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）を掲載しました。

## 貸借対照表

平成28(2016)年3月31日現在

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	963,135	2,390,623	△ 1,427,488
未収金	940	840	100
仮払金	36,706	34,544	2,162
流動資産合計	1,000,781	2,426,007	△ 1,425,226
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
大学院設立資金(普通預金)	0	5,000	△ 5,000
大学院設立資金(定期預金)	1,386,009	184,312	1,201,697
大学設立資金(その他)	80,000	80,000	0
特定資産合計	1,466,009	269,312	1,196,697
(3) その他固定資産			
保証金	60,000	60,000	0
ソフトウェア	342,306	342,306	0
減価償却累計額	△ 114,106	△ 45,646	△ 68,460
その他固定資産合計	288,200	356,660	△ 68,460
固定資産合計	4,754,209	3,625,972	1,128,237
資産合計	5,754,990	6,051,979	△ 296,989
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	5,400	195,597	△ 190,197
未払費用	14,699	14,504	195
前受金	25,000	0	25,000
預り金	15,223	17,492	△ 2,269
未払法人税等	20,000	20,000	0
流動負債合計	80,322	247,593	△ 167,271
負債合計	80,322	247,593	△ 167,271
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,465,950	269,300	1,196,650
受取利子	59	12	47
指定正味財産合計	4,466,009	3,269,312	1,196,697
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	1,466,009	269,312	1,196,697
2. 一般正味財産	1,208,659	2,535,074	△ 1,326,415
正味財産合計	5,674,668	5,804,386	△ 129,718
負債及び正味財産合計	5,754,990	6,051,979	△ 296,989

### 正味財産増減計算書

平成27(2015)年4月1日から平成28(2016)年3月31日まで

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	637	599	38
受取会費	1,965,000	1,950,000	15,000
賛助会費(個人)	515,000	570,000	△ 55,000
賛助会費(団体)	30,000	40,000	△ 10,000
賛助会費(法人)	1,420,000	1,340,000	80,000
受取寄付金	1,967,915	2,264,564	△ 296,649
一般寄附金	1,967,915	1,564,564	403,351
管理指定寄付金	0	700,000	△ 700,000
雑収益	361	60,630	△ 60,269
普通預金受取利息	361	630	△ 269
その他収益	0	60,000	△ 60,000
経常収益計	3,933,913	4,275,793	△ 341,880
(2) 経常費用			
事業費	3,800,182	4,849,427	△ 1,049,245
役員報酬	630,000	512,885	117,115
給与手当	954,000	954,000	0
福利厚生費	142,591	140,836	1,755
会議費	26,342	23,665	2,677
旅費交通費	934,782	1,273,694	△ 338,912
通信運搬費	253,928	326,817	△ 72,889
消耗品費	98,934	136,227	△ 37,293
修繕費	0	3,645	△ 3,645
印刷製本費	250,606	793,446	△ 542,840
水道光熱費	72,041	53,612	18,429
事務所賃借料	207,000	206,250	750
委託費	4,050	4,050	0
会場賃借料	3,580	81,180	△ 77,600
リース料	181,818	181,818	0
諸謝金	0	64,548	△ 64,548
広告宣伝費	0	20,481	△ 20,481
支払手数料	16,524	19,197	△ 2,673
新聞図書費	13,986	5,076	8,910
支払負担金	10,000	10,000	0
雑費	0	38,000	△ 38,000
管理費	1,460,146	1,848,601	△ 388,455
役員報酬	210,000	170,961	39,039
給与手当	318,000	318,000	0
福利厚生費	47,530	46,945	585
会議費	2,918	3,780	△ 862
旅費交通費	501,100	828,076	△ 326,976
通信運搬費	29,366	42,496	△ 13,130
消耗品費	32,978	100,266	△ 67,288
修繕費	0	1,215	△ 1,215
印刷製本費	59,194	62,928	△ 3,734
水道光熱費	24,014	17,870	6,144
事務所賃借料	69,000	68,750	250
会場賃借料	1,350	1,800	△ 450
委託費	1,680	42,687	△ 41,007
リース料	60,606	60,606	0
減価償却費	68,460	45,646	22,814
支払手数料	5,508	11,881	△ 6,373
新聞図書費	3,510	0	3,510
租税公課	20,800	20,000	800
雑費	4,132	4,694	△ 562
経常費用計	5,260,328	6,698,028	△ 1,437,700
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,326,415	△ 2,422,235	1,095,820
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,326,415	△ 2,422,235	1,095,820
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,326,415	△ 2,422,235	1,095,820
一般正味財産期首残高	2,535,074	4,957,309	△ 2,422,235
一般正味財産期末残高	1,208,659	2,535,074	△ 1,326,415
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,196,650	219,300	977,350
受取寄付金(大学設立資金)	1,196,650	219,300	977,350
特定資産運用益	47	12	35
大学院設立資金受取利息	47	12	35
当期指定正味財産増減額	1,196,697	219,312	977,385
指定正味財産期首残高	3,269,312	3,050,000	219,312
指定正味財産期末残高	4,466,009	3,269,312	1,196,697
III 正味財産期末残高	5,674,668	5,804,386	△ 129,718

知床自然大学院大学設立財団は、

活動を支援して下さる 賛助会員、寄附金 を募集しています

会員の皆様の中で 2016 年度会費未納入の方におかれましては、

新年度(2016 年度)分の会費納入をお願いします

(会員の年度は 4 月 1 日～3 月 31 日です)



#### ■賛助会員とは

この財団の目的に賛同する個人・団体・法人が会費を通じて支援するものです。

#### ■賛助会員の特典

当財団のニュースレター、講演会やセミナーの案内情報を優先的にお送りします。

#### ■会員の年会費

個人会員：5,000 円

団体会員：10,000 円

法人会員：20,000 円

法人特別会員：100,000 円

※年度ごとの納入となります。

#### ■寄附金について

寄附金も随時募集しています。

賛助会員加入同様にお申し込みください。

#### ■加入申込み方法

パンフレット付属の「払込取扱票」と「申込書」をご使用ください。(パンフレットご希望の方は、下記事務局までご連絡ください) また当財団ホームページからも「申込書」と「払込取扱票」をプリントアウトできます。

#### ■主な入金口座について

ゆうちょ銀行 記号 19940 (普) 10138691

(※他の金融機関から 店名九九八 番号 1013869)

北洋銀行斜里支店 店番 452 (普) 3119440

北海道銀行斜里支店 店番 904 (普) 0530326

網走信金斜里支店 店番 003 (普) 0284957

大地みらい信金羅臼支店 店番 003 (普) 1072873

## 設立財団ニュースレター 第9号

発行 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町 28-10

TEL 0152-26-7770 FAX 0152-26-7773

Web <http://www.shiretoko-u.jp>

E-mail [sizendaigaku@wine.plala.or.jp](mailto:sizendaigaku@wine.plala.or.jp)

発行日 2016 年 8 月 10 日

本誌掲載記事・写真などの無断転載をお断りします。